



福岡市育成会だより

第143号

発行所 社会福祉法人 福岡市手をつなぐ育成会

〒810-0062 福岡市中央区荒戸3丁目3-39 福岡市市民福祉プラザ4階
TEL.092-713-1480

この会報は、
共同募金の配分を
受けて作成した
ものです。



ありがとうございました

育成会の四年間にについて

理事長 向井公太

この「福岡市育成会だより」(第143号)は10月に発行されます。

私は、平成22年1月から理事長の職についています。ですから、ちょうど4年(一期2年ですから2期)が終わることとなります。

月並みな言葉ですが、この4年間は早いようで、また遅い感じもしております。

仕事や会議で顔をあわせる方もこの4年間で変わっていきます。4年前に比べ最近はあまりお顔を拝見できない方を思い浮かべ、皆様にいろんな方にお世話になつたなどの思いを新たにします。

法人の仕事上から言えばこの4年間はmustの時代(しなければならない時代)だったかなと思います。育成会の長い歴史の中で、今やらなければならぬ案件が目の前にあつた、そんな感じの4年間でした。やつてきたことに対する評価は様々であることは承知しております。しか

し、ともかくもやらなければならなかつた、そんな感じの4年間でした。

後がない、ギリギリのところまで押しこまれた、そんな感じで過ごした毎日でした。

今、多くの保護者の方にも参加していただき、法人で様々な勉強会を行つております。

施設長にはテーマを1つずつお願ひしております。そのため、施設長の中には週に何回も仕事が終わつた後ふくふくプラザに来ていただいている方もあります。申し訳なく思うと同時に、mustの時代(しなければならない時代)からmayの時代(してもよい時代)に少しずつ移つてきているかなとの感を持っていました。そして、その成果が何年か後に育成会の利用者の方に反映されればこれに勝るものはありません。可能

ると妄想と言われるかもしれません

が。)

ところが私の現実と言えば、障がい者のみならず福祉全体の仕組みやありようが大きく変わつてきている現実すらも、その状況を保護者や本人あるいは職員の皆さんに的確に適時伝えることすらできていないのではないかと力不足を痛感しております。いつの時期にも課題があり、一つの課題が解決してもすぐ次の課題が浮かび上がつてくる。その課題を一つ一つ解決していく。そのためには、法人の職員のみならず、障がいのある人本人はもちろん保護者の方やいろんな関係者の皆様のお力を借りなければ何一つ解決できない。そんな思いを強くした4年間でした。



第54回九州地区手をつなぐ育成会

去る平成26年8月30日(土)～31日(日)に第54回九州地区手をつなぐ育成会・沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会(併催：第48回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会)が「なんくるないさゝ」ではない親亡き後!「障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会を目指す」を大会スローガンに開催されました。

福岡市育成会たとえや会として、名古屋分科会発表者1名、支援者1名、提言者1名、助言者1名の方ご本人、保護者会、各事業所施設長、職員合わせて20名が参加しました。参加されたみなさまから、各分科会の感想を報告させていただきます。

第1分科会「育児と教育」に

卷之二

事務局局長 淵上忠喜

門員の深瀬美穂氏と同園児童発達管
理責任者の松下弥生氏、大分県立中津
支援学校校長の清木直樹氏、北九州市
手をつなぐ育成会副会長の平野千絵
子氏の4人の方。助言者として福岡県
手をつなぐ育成会会长横山利忠子氏
により分科会の進行が行われました。
発表では、宮崎県のわかば園から

日々の療育の取り組みや障害児保育への支援等その実態や地域における施設の役割が述べられました。大分基づく特別支援教育や就労支援の状況。北九州市手をつなぐ育成会からは、活動の実態とこれまでの経緯が述べられ、発表者それぞれから、関係機関や地域との連携の必要性を求められ、コーディネーターにより助言者の意見や会場からの質問や意見も取り入れた進行で、参加者一同これから連携とそれぞれの活動の大切さを確認しあう有意義な分科会となりました。

日々の療育の取り組みや障害児保育への支援等その実態や地域における施設の役割が述べられました。大分県立中津支援学校からは教育理念に基づく特別支援教育や就労支援の状況。北九州市手をつなぐ育成会からは、活動の実態とこれまでの経緯が述べられ、発表者それぞれから、関係機関や地域との連携の必要性を求められ、コーディネーターにより助言者の意見や会場からの質問や意見も取り入れた進行で、参加者一同これからの連携とそれぞれの活動の大切さを確認しあう有意義な分科会とな

さ等)や今後の課題と夢(事業の拡大等)の話されました。田坂氏は事業自の就労支援システムについて説されました。あわせて、就労支援にかかる課題を述べられました。島田は特別支援学校における進路指導実態や卒業後の課題について述べました。東氏はその豊富な経験もとに、発表者の訴えるところを分に引き出しておられました。

私は、福岡市育成会を含めた福市における就労に関する取り組み状況や福岡市においても同様な課があることをお話をしました。

さ等)や今後の課題と夢(事業の拡大等)の話されました。田坂氏は事業自の就労支援システムについて説されました。あわせて、就労支援にかかる課題を述べられました。島田は特別支援学校における進路指導実態や卒業後の課題について述べました。東氏はその豊富な経験もとに、発表者の訴えるところを分に引き出しておられました。

私は、福岡市育成会を含めた福市における就労に関する取り組み状況や福岡市においても同様な課があることをお話ししました。

このツールの普及に向けて、支援者が協力を求めて全市的な活動としているところは本当にすごいことだと思います。さらに、ヘルプカードの作成に研修の際にカードの説明を行い障害者に対する理解を深めてもらえるよう活動を広げているとの事でした。

次に印象に残っているのは薩摩川内市の活動で、公立学校の特別支援学級において育成会名義の文書を配り、会員の募集やイベントへの案内を行っていることです。薩摩川内市では教員の会員も多く、年に一回行われる「さわやか交流会」には学生・社会人を問わず本人、保護者はもちろん特別支援学校の校長や教員までも参加して小運動会を楽しんだり、活発な意見交換会を行ったりしているそうです。こちらの活動も学校と積極的に関わることで、支援の幅を広げて障がい者がより良く暮らせることを目指すものだと感じました。

2つの地域共に自分の組織内だけで完結させるのではなく、積極的に地域に関わることで、地域の方々に理解を深めてもらい協力を得ようと活動していることに感銘を受けました。障がいを持つた方が地域で暮らすことを支援するためには、やはり支援

者が積極的に動いていくことが必要なのだと思います。

第4分科会「権利擁護と後見人制度」に参加して

ひまわり園 花田 敏秀

育成会の九州大会が沖縄で行われ、私は権利擁護部会に参加しました。この部会の内容を逐一報告すること近年「障害者虐待防止法」や「障害者差別解消法」の成立そして今年2月の「障害者の権利に関する条約」の批准を受けて法制度の整備が進んで参りました。しかし、一般の市民がどれほどこれを理解しているかは、はなはだ疑問があります。私はある市の中障害者計画の策定に携わっていますが、その市の障害者に対するアンケート調査では「障害者虐待防止法」の存在を知らない当事者(知的の分野)では保護者が回答している場合も含む)が過半数を超えていました。せつかく法整備ができても、当事者が知らないものを、まして一般市民が知らぬもありません。一層の啓発活動が求められています。また、法ができるもそれを実効性あるものにするため、相談を受け付け、解決するための公的機関の設置が求められます。現状において、はなはだ不十分であります。しかし一方では「障害者虐待

防止法」において、通報を受け付ける機関の設置が義務付けられ、少しずつではありますが通報もあるようになります。「障害者差別解消法」においても公的機関の一層の関与が求められます。成年後見制度の利用も少しずつではありますが進んできています。しかしこれについても市町村申し立てが簡便にできるよう仕組みづくりが求められています。

あきらめず、「障害のある人が地域で普通に暮らせる社会」「地域社会にインクルージョン」される社会の実現に向けて、「知的障害者の人権を回復する砦」として、全国の育成会が手をつないで活動していくことの必要性を改めて確認した大会でした。

第5分科会「事業所」に参加して

ライフサポートてをつなぐ 伊達 美奈子

平成15年の支援費制度に始まり、約10年の中で障がい者福祉の制度が



本人部会第6分科会 「仲間と語り合い」に参加して

向井 公平

本人部会第6分科会 「仲間と語り合い」に参加して

事務局 荒井 晃紀

にどのように思いを継承していくか育成会運動の原点というべき内容の報告と課題が発表されました。

それを見て、「地域の社会資源の

活用方法」「生活介護事業、居宅介護事業の必要性」「若い保護者や施設職員への初心を継承することの必要性と具体策」が、協議されました。

私自身にとつても、真っ只中の課題

であつたため、興味深く拝聴しました。

沖縄大会では、事務局の荒井さんにお大変お世話になりました。ありがとうございました。

今回、本人部会の支援者という立場で福岡市の発表者向井公平さんの支援をさせていただきました。しかし、実際は、向井さんは一般就労、一人暮らしを10年以上継続されている方なので、あらゆる場面で自己決定もされていましたので、私自身向井さんと一緒に楽しく大会に参加させていただきました。

本人部会では、発表者の方々の活

き活きとした発表に感銘いたしました。また、質疑応答では、会場から

の様々な質問に発表者のみなさんが的確に答えてある姿は、頼もしさを

覚えました。向井さんへも、かなり難しい質問が投げかけられたのです

ので、3人ずつ2回に分けて発表がありました。私は8番目でした。自己紹介、私の仕事、いま一番楽しいこと、将来の夢を発表しました。

ので、3人ずつ2回に分けて発表がありました。私は8番目でした。自己紹介、私の仕事、いま一番楽しいこと、将来の夢を発表しました。

その流れの中で、試行錯誤しながら事業所運営を続けている中から「自

分たちの足元、地域とどのように手

をつないでいくか」「本人のライフス

テージに合った支援の在り方とは何

か」「高齢化する親の世代から次世代

も努めていきたいと感じました。

職員人事評価制度の導入について

今回の検討事業報告は、法人職員の「人事評価制度」についてです。現在当法人には、100名を超える職員が在籍しており、今後各職員に対して法人として正しく評価していくために「人事評価」を検討してきました。

今回はその、課程と結果についての報告となります。

育成会には今日まで人事評価制度が無く、必要な都度各所属から事情を聴きながら調整してきました。

しかしながら、組織の規模も大きくなり、施設も分散して情報管理が難しくなってきたため、育成会独自の意見や職務実績、能力等を的確に把握して適材適所の人事配置やメリハリのある職員待遇を実施しようとするものです。結果として職務意欲を向上させ法人が目指す質の高い福祉サービスを提供できる体制構築の一助になればと考えています。

制度導入に当たっては評価する人される人すべてが趣旨を十分理解して取組む必要があります。

今回導入する制度の特徴は、

- 期首に職員が取組む目標を自己申告し、期末には自己評価する。
- 評価者の評価は最小限に留める。
- 評価する人、される人が本音で意見交換できるコミュニケーションの機会とする。などですが、これらを達成するためには職員全員がこれまで以上に自己管理、自己啓発に努めなければなりません。自己を見つめて目標を定め、その目標に向け努力、記録し、最後に成果を自己評価することになるからです。

詳細な方法・様式等は別途「育成会人事評価要綱」で定めますが、云々までもなく評価結果は人事管理の基礎資料として人事配置のほか昇任や昇給、研修参加などに活用されることとなり、出された意見、提案等で上げられ改善のキッカケになることでしょう。

今は評価される人も将来は評価する側の人になる可能性があります。また、今回は職員中心でスタートしますが、将来は嘱託職員、臨時職員にも拡大されることとなりましょうから

(文責 検討会議座長 牟田)

平成26年度 第1回専門職員研修会



様々な立場の職員配置だったのでも意見もそれぞれの視点から多数あげられていました。グループ毎に抽出課題は、同じ事項が多かったのですが、解決案は、全く違うものもありました。

最後に、いくつかのグループに発表をしてもらいましたが、参加者は、自分たちの解決案とは違う発表に真剣に聞き入っていました。

今年度第1回目の専門職員研修を行いました。この研修会は、実際に法人内の事業所の利用者さんのケースを取り上げグループワークにて検討を行いました。始めに、実際支援を担当している事業所支援員からケースの詳細説明を行った後、1グループ7名毎でケース検討を行いました。今回は、KJ法により課題の抽出を行い、各グループごとに課題を絞り込み解決案を見出すよう取り組みました。各グループそれぞれ事業所が違つたり、所属事業が違うなど

職員人事評価要綱」で定めますが、云々までもなく評価結果は人事管理の基礎資料として人事配置のほか昇任や昇給、研修参加などに活用されることとなり、出された意見、提案等で上げられ改善のキッカケになることでしょう。

今は評価される人も将来は評価する側の人になる可能性があります。また、今回は職員中心でスタートしますが、将来は嘱託職員、臨時職員にも拡大されることとなりましょうから

いきたいと思います。本当にいい体験でした。ありがとうございました。

二ケーション、利用者への共通認識等への対応などをどうしているのか知りたかったし、聞くべきであつたと反省しております。



ひまわりパークつぼみ

ひまわりパーク上牟田

ひまわりパークつぼみ 石川 晶子

ひまわりパーク上牟田 島田 典子

8月27日ひまわりパーク上牟田で一日限りの現場研修でありましたが、有意義な体験をさせていただきました。作業風景、利用者の様子、そして事業所の様子を見る事が出来て良かったと思いません。

作業は、ビルの一階部分で独立した各作業室で展開していました。バリアフリーであり足の不自由な方も優しい構造でした。そして利用者の工賃向上の為に作業内容の充実、また利用者が毎日元気に出勤し、楽しく過ごせるように考える事はつぼみと同じだと感じました。そして、利用者が広域のため、朝夕の送迎を実施してありました。そのため、職員の朝礼は行うが、終礼は基本的に行われないそうです。職員間のコミュ

8月28日にひまわりの里へ行ってきました。里へは以前、担当していた利用者が短期入所をする際に行つたことがあります。里へは以前、担当していた利用者が短期入所をする際に行つたのですが、今回は日勤の支援員の時間に合わせて訪問し、支援の一日の流れを体験することができました。

里では担当の女性支援員から細やかに説明を受けながら、実際の支援を行いました。健康観察を始め、歯磨きの支援やトイレの支援、食事や入浴介助等々、説明を聞くたびに利用者一人一人に応じた細やかな配慮と支援の方法に頭が下がる思いでした。



私は今まで福祉訓練指導員として就労を目指す方の支援をしていたため、介護の現場を体験するのは初めてでした。また、入所されている方々との会話や歩行訓練の補助などで利用者の方のさまざまな思いに触れ、深い印象を受けました。

ひまわりパーク上牟田では生活介護事業を行っているため、この体験は貴重な財産となりました。日々利用者の命を預かり、気を抜けない状況の中にあって、明るく親切に接してくださった職員の方々には感謝と尊敬の気持ちでいっぱいです。

入所施設として24時間、365日、利用者の暮らしをサポートすることの責任や配慮等々、わずか一日では多くのことを見逃していると思いますが、その一端を知ることができ、とても良い勉強になりました。

今回、研修で私は、ひまわりパーク上牟田に行かせていただきました。利用者のみなさんは、それぞれが所属する班での作業に誇りを持って取り組っていました。午前、午後と袋折りの作業に入らせていただきました。ミリ単位の作業内容で非常に細かい作業でしたが、利用者の方々は手際よく取り組んでいました。また、利用者の方々が気持ちよく作業に取り組めるよう、それぞれの好みを考えた音楽を流すなど、支援の大もさえていました。

最初に所属したのは、平成22年4月1日でひまわり園でした。その頃は、法人内の事業所は、福岡ひまわりの里、つぼみ作業所、ひまわり園と3事業所のみでした。当時は、ひまわり園の勤務内容を覚えることに必死で他事業所のことはほとんど知りませんでした。しかし、平成24年のひまわりパーク六本松開所を始め、ひまわりパーク上牟田開所、また、つぼみ作業所も変わり、一気に法人内の事業所も増えました。その後から、一度は他事業所の様子を見てみたいと思っていましたので、今回の施設間交流はとても良い機会になりました。

今後も、ひまわり園での研修を機会に、他の事業所との連携を深めていきたいと思います。

私が福岡市手をつなぐ育成会で最も大切に思っているのが、利用者の方々の能力に合った作業

私は今まで福祉訓練指導員として就労を目指す方の支援をしていたため、介護の現場を体験するのは初めてでした。また、入所されている方々との会話や歩行訓練の補助などで利用者の方のさまざまな思いに触れ、深い印象を受けました。

今後も、ひまわり園での研修を機会に、他の事業所との連携を深めていきたいと思います。

内容の提供、またその能力を最大限に活かすための環境の設定など、改めて考えさせられた実習になりました。今回の実習での経験を自身の支援、また事業所内の職員やヘルパーに伝え、活かしていきたいと思っています。

専門研修委員 荒井 晃紀
今年度から法人内の専門職員研修の一環として、施設間交流を行いました。各職員からの報告にもあるように、新たな気づきであつたり支援に対する姿勢及び考え方の再認識が行われたようでした。今回の目的は、大きく分けて2つありました。ひとつは、今述べたような支援の体験によるスキルアップがありました。もうひとつは、現在法人内で複数の事業所及び複数の障がい福祉サービスを運営、展開していますが、職員が法人全体の動きを知ることで、営業マン的役割も担つて欲しいという狙いがあります。

まだ、当法人を知らない障がいのある方及びその保護者の皆さんに対して「福岡市手をつなぐ育成会」の活

施設間交流を実施して



専門研修委員 荒井 晃紀

動をご理解いただき、各種サービスの利用をしていただけるよう法人としています。今後も、専門研修委員会では、各職員が説明できることを切に願つて研修、勉強会などの支援のスキルアップに留まらず、今回のような体験を通しての法人内の情報収集のための企画も取り入れて行つて行きます。



相談支援専門員 二田 佐知子

「相談支援事業所 ひまわり」が開所して1年と半年が経過しました。

受給者証が10月に更新する方を優

先的に計画相談支援の案内が行政機関から届けられています。現状としては、1人で計画を作成していくことが容易なことではありませんが、ひまわり園に通われている家族、育成会の事業所に通勤されている方との関わる機会やご家族とお話しする時間が、私にとって至福の時であり、大切な時間になっています。

更新の手続きや計画相談の申請につきまして、戸惑われている方がいるかと思いますが、何かご不明な点がございましたらいつでもひまわり園の二田まで申し出てください。

知的障がい、発達障がいのある方を、充実した保障でお守りします！



平成25年料率改定

少額短期医療介護保険(標準型)2012年創設

入院保障

1泊2日からの手厚い入院保障。

個人賠償責任補償

原則として支払い回数に制限なし。

権利擁護費用補償

被害事故を解決までサポート。

死亡保障

万一のときの死亡保障。

ぜんちのあんしん保険 保障内容 (A-1プランの場合)

病気・ケガ	死亡保険金	10万円	被害事故	法律相談費用	5万円までの支度費
ケガ	特定重度障害保険金	10万円	被害事故	弁護士委任費用	100万円までの支度費
病気・ケガ	入院保険金	1日につき 8,000円	被害事故	接見費用	1万円
病気・ケガ	入院一時金	10,000円	個人賠償	個人賠償責任保険金	1,000万円
ケガ	傷害通院保険金	1日につき 1,000円			

*1 1回の入院または1回の通院につき、30日限度。

*2 てんかんによる入院の場合は1日につき4,000円となります。

年間保険料17,000円でこの充実した保障をお届けいたします。

* この広告は商品の概要を説明しております。ご契約の際には必ず「パンフレット」「重要事項説明書」をご確認ください。

詳しい資料のご請求、商品のお問い合わせは下記代理店へお気軽にどうぞ。

○取扱代理店

株式会社 グッド・サポート
TEL 092-263-6771 FAX 092-263-6772

〒812-0037 福岡県福岡市博多区御供所町2-63 博多パルビル3F

○引受保険会社

ともに助け、ともに生きる
・ぜんち共済株式会社

健康財産共済「少額短期保険」第14号

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3丁目5番8号

岩本町シティプラザビル5階

保護者会だより

福岡市手をつなぐ育成会保護者会

知的障がい者の権利擁護の団体として
安全・安心で幸せに暮らせる社会を目指して
運動しています。

去る10月4日に『第34回手をつなぐ育成会福岡県大会』が当法人福岡市手をつなぐ育成会が主管でふくふくプラザのホールで開催されました。

(社福)全日本手をつなぐ育成会から全国手をつなぐ育成会連合会となつて、初めて、久保厚子会長が来福され、「今、育成会の役割と展望を語る」と題しての基調講演がありました。

まず、基調講演から、内容を抜粋してご報告します。(詳細は、

事務局までお問い合わせを)

・昭和27年に3人の知的障がいのある子の母親たちが「わが子にも教育を」「わが子にも人権と幸せを」と願つて『精神薄弱者児育成会』を立ち上げた。とともに手をつなぎ合い、わが子の幸せ」と会の結成をびかけたのが始まり。差別的な言葉である「精神薄弱」をあえて掲げ

てわが子の人権回復を求める団体であることを明確に示し、揺るぎない決心とともに強い連携活動を目指して立ち上がった団体である。

・親が祈りと願いを結集して、

子どもの本当の願いを結集して子どもの本当の幸せのため立ち上がり、その熱烈な願いが関係者的心魂をゆさぶつたことが、重度・重症者への対策がはじまつた。育成会の原点は、障がいのあるわが子が、一人の

人間として当たり前の暮らしができ、幸せに暮らせるための人权回復。

・育成会とは」という理念と、「ありたい姿(目的意識)」をもち、「障害者の権利擁護」「必要な政策提言」を進める。

さあ、福岡市も、理念と目的を、会員みんなで共有して進みましょう!

平成26年度

育成会保護者会の活動

そこで、9月から研修会が続いていますが、参加者も多く、「参加して良かった」「もっと勉強したい」など、うれしい感想があり、役員もみんなの役に立正在と励みになっています。

ご提案やご指摘もあります。いつもどうしたらより良い活動になるのだろうと役員は思案していますので、ありがとうございます。「それぐらい、わかっていないと?」とおしゃりを受けそうですが、今後に活かすよう努力していきます。

みんなの声があつて、そのみなさんの声を育成会保護者会役員会で集約して、活動や運動になります。「○○について知りたい」「○○で困つて」「○○が不安」「○○な良いことがあつたよ」等々、育成会保護者会に届けようという気持ちになるように、人が集まる会になるように、役員一同つとめてまいります。

ふえますが、お断りでも気にならないでお受けいただければ幸いです。必要な情報を届けたい、みなさんとつながりたいために連絡をしています(ハハ)♡

ブロック別懇談会 開催中
全てのブロックに、会長・副会長が出向き、会員のみなさんのお話を直接聴かせてもらいます。ぜひ、ご参加ください!!

福岡市手をつなぐ育成会保護者会
TEL 092-713-1480
FAX 092-715-3561
e-mail hogsha2@fuku.jp

育成会保護者会 催し物予定 (特筆ないものは会員外参加OK)
☆成人向け定例会11月5日、10:30~、ふくふくプラザ4階応接室4 ☆笠先生講演会11月14日、10:00~、ひまわり園、要申込(先着60名)(申し込み多数の場合、会員優先)
☆個人会員の集い11月17日、10:30~、ふくふくプラザ4階応接室2 ☆成年後見制度研修11月27日、10:00~、ふくふくプラザ501、会員のみ、要申込 ☆65歳問題ってなに? 第2回目 高齢の障がい者の制度を知ろう12月8日、10:30~、ふくふくプラザ6階601研修室、(会員外 資料代等300円) 要申込、講師:障がい者在宅支援課竹森課長・障がい者施設支援課下川課長、介護福祉課中西課長

『本人の声を聞く会』開催!

日時 平成26年7月6日

場所 あいあいセンター

障がいのあるご本人たちに思いを語つてもらいました。原稿そのままです。(発表順)

わたしの楽しいこと、やりたいこと

ひまわりパークつぼみ H・S

ぼくには、二つの楽しいことがあります。

一つは、今働いている動物園での清掃作業です。それは、ぼくが小さいころから動物が好きで毎日動物の近くで働いていることが楽しいからです。

もう一つは、よさこい隊です。今は5mの旗を音楽にあわせて振っていますが、時々は踊ります。毎週一回みんなで練習して、たくさんの祭などに参加するのがたのしみです。いつも楽しょに楽しくできることなので、みんなで楽しめるように、仕事もよさこいも、これからもいっぱいがんばります。

わたしの楽しいこと、やりたいこと

ひまわりパーク六本松 O・S

僕は、ひまわりパーク六本松に行っています。封入作業が楽しいです。

休日は、マラソンやバスケットをしています。10年間続けています。マラソンは、三宅中央公園を3km走っています。月1回のランニング教室では、6km走っています。

平成19年の全国障がい者スポーツ大会1500mを走り、4位になりました。がんばりました。バスケット

は、スポーツセンターに通っています。守備をしています。5人のメンバーで試合に出ています。自宅では、スリ

パーマリオのゲームやラジカセでウルトラマンタロウの曲をきいていま

す。お手伝いもしています。かんせんのそうちと床ふきをしています。

料理も好きです。朝食にキウイの皮をうすくむいています。タッチに参加をしています。ほうちょうでベーコンや玉ねぎを切って、ミートソーススパゲティーを作りました。

僕は、就職を目指しています。ギヨウザ屋さんの実習に行きました。キャベツと玉ねぎ、にんじんを切りました。

台ふきもしました。また、実習に行きました。調理のお仕事をしたいです。

ぼくの好きなこと、やりたいこと

福岡ひまわりの里 S・Y

ぼくは福岡ひまわりの里に入所しています。ひまわりの里は生活の場所です。

日中の活動として自立作業班に所

属しています。地域の公民館や老人施設へ清掃の仕事を行っています。

自分の家には月に2回ほど帰っています。その時に外食をしたり好きなお菓子を買ったりするのが一番好きなのです。何を食べようかかんなことです。何を食べようかかんがえることも楽しみのひとつです。ピザがけつこう好きです。おもし好きで買って家で食べることもあります。やりたいことは、将来グループホ

とにチャレンジすることです。

その一つに、ダンスをうまくおどれるようにとチャレンジして、10年になります。うまくおどれなかつた

なり、きびしいレッスンで、やめたい時もあつたけれど、すきという気持ちだけで、つづけています。そのおかげ

で仲のよい友だちもふえ、長いおつきあいを、しています。しゅうしょくにもチャレンジし、中央郵便局で、6年はんがんばりました。初めは、仕事をすることが楽しかったのですが、いろんなことがあつて、だんだんつらくなり、やめてしましました。今は元気になり、もう一度しゅうしょくしたいと思っています。

『人生』

育成会事業部 O・Y

皆さん、こんにちは。はじめまして。

私は、昨年7月より市民福祉プラザ内の清掃業務につきお世話をなっています。

手をつなぐ育成会に人社する前は、

いろいろな仕事をしてきました。

しかし、私にはたくさんの悩みがあり、それぞれの会社でいじめにあり、そこで頑張つていく自信もなくしていません。

「なんで私はかりいじめやながされないといけないの…」

悩みがたくさんありました。時々、仕事に自信をなくし死にたい気持ちもありました。

入社して今年7月で一年たちます。

今は、職場のみんなと一緒に仕事が出来て自分はうれしい楽しい毎日です。

今は、皆さんのおかげだと思つています。

これからも頑張つて行きたいと思つています。

あなたの方の嬉しいことはなんですか？
やりたいことはなんですか？

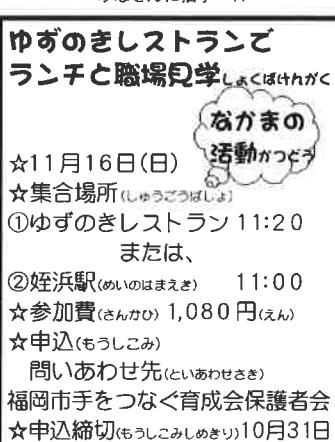
ひまわりパーク上牟田 ○・M
ぼくは、ひまわりパークかみむた
でNTTのしごとをしています。

つける札ふきです。みんなとおしゃべ
りしながらことをしています。

たまにはけんかをするけどすぐになか
よくなります。ぼくはフダふきのしご
とが大きです。かみむたではよかし
えんもありますよカラオケやボウリ
ングにいきました。ひがえりりょこう
もありました。とてもたのしかったです。
かみむたではかんいさきようでかわ
いいけむしをもじやもじやにつくつた
り、ポテトチップスをつくっています。
ぼくはのりしおあじがすきです。ぼく
は、NTTのフダののうひんにいつて
みたいですが、今はこしがいたくていけ
ないけどなおつたらいきたいです。

以上の文章は、知的障がいのある
ご本人が、ご自身で書かれて、発表し
ます。また、準備委員として、資
料の準備や当日の受付、マイク
係などもご本人

みなさんに拍手～!!



**ゆずのきレストランご
ランチと職場見学**

☆11月16日(日)
☆集合場所(しゅうごうばしょ)
①ゆずのきレストラン 11:20
または、
②姪浜駅(めいのはまえき) 11:00
☆参加費(さんかひ) 1,080円(えん)
☆申込(もうしこみ)
問い合わせ先(といあわせさき)
福岡市手をつなぐ育成会保護者会
☆申込締切(もうしこみしめきり)10月31日

たちが役割を持つてこの会を実施し
ました。

みなさん、「本人の思いを聴い
てどのように感じましたか？」

本人の思いをかなえるために
は、どうしたらよいでしょう？

いくつか、感想をご紹介します。
*自分の子どもは、しゃべれない
のでこの企画は関係ない、と思つて
いたけれど、しゃべれないわが子の
気持ちを聞けたきがする。

*働きたい、グループホームで暮
らしたい、などかなえてやりたい。
*つらい思いをしても、働きたい
とがんばっていることを知つて、応
援したいと思う。

*やりがいをもつて、働いている、
働きたい気持ちが、すごくわかつた。
寄せられました。

この応援したい気持ちを集め
て、本人たちの思いを形にして
いきましょう！

表彰

ひまわりパーク上牟田 河原直美

■新規採用 ■

ひまわり園 日野朋子

福岡ひまわりの里 江崎美樹

清掃事業部 武井典明

福岡市市民福祉プラザ 山崎君江

ひまわり園 西嶋操

●理事長表彰
川村千香様 北嵩浩一
栗林康恵様 小菅正文
佐枝武郎様 篠隈忠
副島由美子様 谷口喜美子様
辻田健士様 牛丸健児様
山崎幹夫様 副島啓一様

●第1回全国手をつなぐ連合会
平成26年9月27日～28日
全国大会 島根大会

真鍋佳子様

法人へ
下司恵美様

事業部へ
坂本千枝子様

大石民子様

藤瀬三枝子様

廣松博子様

おめでとうございます。

職員人事

■退職者
ひまわり園 常住浩子
福岡ひまわりの里 中江杏奈
清掃事業部 磯野幸太郎
河村和朋

寄付のお礼

(平成26年7月～平成26年9月)

法人へ

下司恵美様

事業部へ
坂本千枝子様

大石民子様

福岡ひまわり園へ
坂本千枝子様

ひまわりパーク六本松へ
井上絹代様

福岡ひまわりの里へ
小林光男様

寿楽園へ
井上絹代様

ひまわりパーク六本松へ
ひまわりパーク六本松保護者会

ライフサポートへをつなぐ
寺本悦子様

保護者会へ
寺本悦子様

ありがとうございました。